



## 年頭所感

俱知安商工会議所

会 頭 阿 部 和 則

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、輝かしい新春を迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より当会議所の事業や運営にご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。昨秋以来、国内の新型コロナウイルスの感染者数が著しく減少し、通常の日常生活と景気回復が期待される局面に入りましたが、オミクロン株の流行で、一抹の不安を抱えながらのスタートとなりました。

コロナ後の景気回復は「K字型回復」と言われ、業種により大きな差が生じます。わが町の基幹産業であるリゾート関連産業と農業は、どちらとも回復が遅くダメージの大きい産業です。

事業の再構築など他の産業と違う資金も必要とします。引き続き、国・道や俱知安町に支援策を要請してまいります。

コロナ禍でグローバル化と東京一極集中は、サプライチェーンの寸断や働き方など大きな問題を抱えていることが明らかになりました。国の推し進める「デジタル田園都市国家構想」も踏まえ、ワーケーションや夏季ロングステイ地域としての実績を生かしたデジタル社会への対応を推進してまいります。

当商工会議所は、令和3年6月1日、俱知安町と「まちづくり協働・連携に関する協定書」を締結しました。これに基づき、11月29日には「俱知安駅周辺まちづくり提案書」を町に提出しています。

この提案書は、5年にわたる議論と実証実験、都合30回に及ぶ行政と町民を交えた協議を経て、新幹線駅開業後の具体的なまちづくりの指針となるものとして提案しました。提案内容に伴う事業用地の取得を俱知安町とJAようお願いしており、理解を頂ければ、駅周辺の整備が大きく前進するものと期待しております。

今年もコロナ禍により変わってしまった仕事と働き方、生活様式に対応した地域経済の在り方を550人の会員の皆様と幅広く議論してまいります。

結びに、会員の皆様のご健勝と事業のご繁栄を心からお祈り申し上げます。



# 年頭所感

北海道商工会議所連合会

会頭 岩田圭剛

令和4年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃から道商連の事業活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年新型コロナウイルスとの戦いに明け暮れた1年となりました。この間、事業継続に向け懸命な経営努力を続けてこられた皆様に対し、改めて深く敬意を表します。

昨年11月には行動制限も解除され、北海道経済回復のスタートによりやく立ったところであり、今年は、現下の苦境から反転攻勢に転じ、北海道経済を再びしっかりと

した成長軌道に乗せるべく、全道42商工会議所と連携し、次の事業

に取り組んで参る所存であります。1点目は、新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の正常化との両立に向けた環境整備で

あります。

若い世代のワクチン接種率引き

上げや追加接種の促進、経口薬の実用化、医療を逼迫させない病床数の確保、ワクチン検査パッケージの活用など、ウィズコロナ下での社会経済活動レベルを維持する

仕組みの構築を急ぐことが肝要であります。

2点目は、基幹産業である「食」

と「観光」の回復であります。

需要喚起策はもとより事業再構築に取り組む中小企業を後押しする支援策の継続・強化など、経済再生を先導する対策を、地域の実情に即し迅速に講じていただくよう、国や道に対し強く要請して参ります。

「食」「観光」を北海道の成長エンジンとして、さらに磨き上げ、付加価値を高めていく取り組みを継続して参ります。

3点目は、デジタル化の促進及び総合交通体系の整備であります。コロナ禍を契機に、テレワークやオンライン商談等、非接触・非対面型を中心としたデジタル社会へと急速に変化を遂げました。働き方改革やワーケーション、北海道に居ながらにして道外需要を取り込むEコマース等の事業再構築など、ビジネスモデルの多様化、

選択の幅に広がりを見せています。昨年9月にはデジタル庁が発足され、商取引はもとより、医療や教育など幅広い分野でデジタル化が加速されることと思えます。企業の生産性を高め、ビジネスチャンスを広げていくための有力な方策がデジタル化であり、中小・規模事業者へ実装が進むよう取り組んで参ります。

また、デジタル化がもたらす北海道の魅力・価値を具現化していくためには、交通・物流ネットワークの拡充が必要不可欠であります。2030年の北海道新幹線札幌開業、札幌から全道各地へのアクセス改善、Mas導入による移動のストレスフリー化などシ

ムレスな交通ネットワークの強化にしっかりと取り組んで参りたいと存じます。

以上、新年に当たって、私の所感の一端を申し述べましたが、地域経済を担う中小企業等の一日も早い再生を実現させるべく、厳しい経営状況にある中小企業等に寄り添い、雇用を守る取り組みを加速させていくことが、我々、商工会議所の責務であります。

更に、ウィズコロナ、アフターコロナの時代に即し、SDGsやゼロカーボン北海道など社会経済の大転換期へも的確に対応し、皆様方とともに、明るい北海道に向けた力強い一歩を踏み出す年に参りましょう。

皆様の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びになります。本年が、平常な社会経済に戻り、皆様にとって実り多い素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年会員交礼会・第64回商工模範従業員表彰式を開催します

第64回商工模範従業員表彰被表彰者

令和四年一月二十一日  
(金) 午後六時よりホテル第一会館にて、俱知安商工会議所新年会員交礼会並びに第64回商工模範従業員表彰式を開催します。


商工模範従業員表彰式では永年にわたり事業所において業績向上などに貢献されている十二事業所五十三名に表彰状を授与します。

新年会員交礼会では阿部会頭の年頭挨拶やご来賓からの祝辞などを予定しております。

今年も新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み懇親会は行わず、参加者に折詰をお渡しする事としております。ご参加予定の皆さまはご多用のことと存じますが宜しくお願ひします。


藤波	榎野	椎名	西村	櫻田	妹尾	藤谷	木村	布谷	工藤	古谷	佐々木	佐藤	佐古	小山内	松澤	鈴木	野邊	森田	板谷	佐々木	小澤	佐古	山内	松村	菊地	二七〇環境株式会社
裕子	博文	裕太	美和	一幸	まゆみ	舞美	勝則	昌志	直美	信博	洗義	和弥	康茂	正昭	泰史	智貴	珠美	由紀	裕司	信弥	貴晴	内勉	中山	西川	名畑石油株式会社	
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10	15	15	20	20	20	30	35	株式会	
岩崎	中林	白木建設工業株式会社	安岡	辻村	岩田	池田日出夫税理士事務所	濱村	北村	高木	川筋	川筋	有限会社	田口	下田	佐藤	鈴木	道塚	横関建設工業株式会社	高橋	問谷	大砂	中山	西川	株式会	第一会館	
郁夫	一尋	株式会	春美	香彦	保彦	政伸	浩司	宏彰	良則	細田産業	稀生	翔馬	夕里	議	加	勉	株式会	正子	泰子	誠司	之悟	伸之	川悟	株式会		
25	40	株式	15	15	21	11	15	15	16	5	5	5	10	25	35	38	40	46	48	48	48	48	48	株式		
12	40	35	30	25	20	15	10	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
企業	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	
53	4	3	1	2	4	7	11	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	
名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名	

(下段の数字は勤続年数)



議員  
**三浦一廣氏**

三浦氏は、平成3年以来通算20年以上にわたり当所の役員議員として組織の運営強化と業界の発展に尽力された。



常議員  
**千葉善吉氏**

千葉氏は、平成3年以来通算20年以上にわたり当所の役員議員として組織の運営強化と業界の発展に尽力された。

日本商工会議所  
役員議員表彰

商工会議所の役員議員として、多年にわたり活動の中核を担い地域活性化等に尽力され、その功績が顕著な役員議員を表彰する。

### 俱知安町産業功労賞



常議員  
川端 克彦氏

川端氏は平成13年以来当所の役員議員として通算20年以上にわたり、組織の運営強化と業界の発展に貢献している。また、青年会議所理事長を務め、現在はライオンズクラブに在籍するなど地域社会貢献活動にも尽力している。

### 俱知安町顕彰



会頭  
阿部 和則氏

阿部氏は平成26年会頭就任以来、商工会議所の財政基盤の確立と組織運営に取り組み、現在に至るまで卓越した先見性と実行力により地域経済の発展に尽くし、その功績が認められ令和3年4月に旭日小綬章を受賞された。

### 北海道産業貢献賞



副会頭  
中井 直樹氏

中井氏は昭和63年以来当所の役員議員として通算33年以上にわたり、地域経済の振興と産業の発展に貢献をし、その間当所の組織強化や新幹線俱知安駅を見据えた検討会議に参加するなど将来に向けた取組に尽力している。

## 町へ 「俱知安駅周辺まちづくり提案書」を提出

令和3年11月29日、北海道新幹線・俱知安駅開業に伴う

「俱知安駅周辺まちづくり提案書」を町へ提出しました。

商工会議所では、平成29年から新幹線・俱知安駅開業後のまちなか賑わい拠点づくりについて、実証実験などを行いながら検討を続けてきました。

また、今年3月には、まちづくり会社準備室を設立して、新幹線駅周辺の再整備について検討をしてきました。

そのなかで、町がかねてよりJAようていから購入の打診があった駅前石造倉庫とその周辺について、新幹線開業後の賑わい拠点として、石造倉庫をアウトドア拠点、ホクレン庁舎を子育て支援施設として整備し、アウトドア関連ショップの整備、俱知安町の地域資源の発信、子育て世代の居場所づくりを行い、来訪者との交流とまちなかへの回遊

の実現を目指す、という新たな提案をしました。

この提案を受けて、町は提案書の内容を吟味、検討して、JAようていと石造倉庫やホクレン庁舎の購入について協議を行うこととしています。



## 第三者認証制度のご案内

北海道では道内飲食店を対象に、感染防止対策の取組状況を確認して対策が実施されている場合に、感染防止対策実践店として認証する制度（通称：第三者認証制度）を実施しております。

認証を受ける事により、町民はもとより町外・道外のお客様に対してもアピールとなり、今後新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言等の措置が取られる場合に、休業要請や時短要請の制限緩和や、支援金対象の要件となる可能性もあります。また申請にあたっては感染防止対策の状況について現地調査も行われますが、基本的な感染対策が実施されていれば認証を取ることが出来ますので、まだ認証を取っていない飲食店はこの機会に是非認証取得に取り組んで頂きますよう、お願いいたします。

詳しくは北海道ホームページをご参照下さい。

<https://do-safety.jp>